

民生経済常任委員会報告書(令和6年7月30日)

委員長	井川 敦雄
副委員長	津川 俊仁
委員	秋山 修
委員	油本 朋也
委員	町田 貴子
委員	前田 栄治
委員	阪本 和俊

民生経済常任委員会の所管事務の調査を実施したので、北栄町会議規則第47条の規定により委員会報告書(中間)を提出します。

記

【調査研究(現況確認)の相手方】

北栄町商工会(役員及び事務局職員)

【期間】

令和6年7月30日(火)

【場所】

北栄町商工会 会議室

【テーマ】

北栄町商工会と北栄町議会民生経済常任委員会との懇談会

*テーマを定めずランチミーティング形式で北栄町の商工業について懇談する。

【意見交換会の概要】

①初めに小椋商工会事務長より懇談会資料に基づき商工会の取り組みについて説明された。

②意見交換会のテーマは決めておらず、商工会からの忌憚のない意見を求めた。

商工会(応答)	民生経済常任委員(応答)
直接、商工会とは関係ないが、大阪の中学生を民泊として受け入れている。北栄町で民泊を受け入れている場合は、例えばふるさと館に連れて行くと、入館料の割引があるが、町外で民泊をしている生徒には割引が適用されない。中部地区全体として民泊を受け入れているのだから町外に民泊をしている生徒にも割引が適用されるようお願いしたい。	

	以前民泊は町単位で行っていたが、今は中部地区全体で行っているので、当然そういう意見はある。せっかく大阪から来てくれた生徒が、コナンの町に来てふるさと館に入館できないのはさみしい話なので、執行部へ伝え対応をはかることにする。
一番は、買い物をする場所が少なく、倉吉市や琴浦町に流れてしまう。それと、観光の面でいうと、観光客が増えてきて、地域外からの消費の流入が起こってきたといった 2 つの要因が大きいと考えている。	地域経済循環率が湯梨浜町や琴浦町に比べて北栄町が低い原因は。
ランチミーティングでは、日々切迫した問題とかを話している。ほくほくカードについても要望はしている。ちょっと押しが足りないかもしれない。 再度三役でしっかりプッシュしていきたい。	ほくほくカードの件で、今年は国の補助がないのでキャンペーンを行うのが難しいということを聞くが、商工会と町とのランチミーティングのときに、要望をするような話は出てこないのか。 是非とも商工会の方からプッシュしていただきたい。
ふるさと納税で返礼品のほとんどが農産物になっている。私は工業製品で返礼品に挑戦してみたい。北栄町の収入に貢献できるようにしたい。	昨年度は、米子市 19 億 2000 万円、次に北栄町 8 億 7314 万円。今年は町長が 10 億円を目指してやっているの、で、よろしく願いしたい。
	ほくほくカードの有効期限が 2 年度

その通り。 カードは商品券と一緒に、発行する場合は 6 カ月以内に有効期限を設けなければならない。しかし、6 カ月以内だと失効が多く、苦情を受けるので、何とか伸ばせないかということで、財務局(国)に届出をし、許可を得て有効期限を伸ばした経過がある。 少しずつだが、利便性を高めるために、来月からLINE公式アカウントのお友達登録キャンペーンを行い、情報をタイムリーに流されるようにする。少しずつだが、住民の方の利便性を高めていく取り組みをさせていただいている。 加入率では大栄地区の方が高い、北条でも江北地区になると商業圏が倉吉市とか湯梨浜町に向いてしまう。また、北条地区に店舗が少ないのも影響している。一気に解消することは難しいが、来年、「道の駅ほうじょう」がオープンする。そちらでもカードが利用できるよう話を進めている。是非とも議会の方からも道の駅で使えるように応援してほしい。	間となっているが、年度間というのは 3 月 31 日までのことか。 その効果をどのように考えてやっておられるのか。 カード会員数の件で、現在 6538 名で順調に増えているという報告だが、町民の過半数を超えるような会員数となるよう目標を高く掲げていただきたい。そして、多くの町民の方に恩恵を受けてもらえるようもっとバージョンアップしていただきたい。 北条地区では、ほくほくカードに対して興味を持っていらっしゃる方が大栄地区よりも低いように思えるのだが。
---	--

数年のうちに県立美術館開館、山陰道の開通、ふるさと館移転となってくる。そうすると、町とのランチミーティングの際には由良駅前の JA の土地にホテルの誘致をという話が何回かでてくる。こうやって環境がそろってくると、いよいよホテルが現実味をおびてくると思うが、議会としてはどういう考えをもっておられるのか。	北栄町に泊まる場所が無いという話はよく聞く。町長も手をあげられる方があれば支援をしようとおられる。議会側としてもそういった声があれば支援をしていきたい。(反対の議員もいるかもしれない。)
私の会社も県の方から「女性活躍企業として頑張ってください。」という話があり、育児休暇明けで戻ってきた女性も非常に頑張ってくれているところだ。	男女間に関わらず明るく働きたいという事業所であって欲しいと思うので、賃金や仕事の内容とか気づかないうちに女性だからと言って待遇に差があったりすると思われるので、ぜひ商工会の方から、いろいろな事業所に対して講演など意識を高めていっていただきたい。 私も女性としてこの仕事をしており、出来るだけ女性が働きやすい環境を作っていきたいという努力は常日頃おこなっている。
(措 置) 9月定例会会期中に開催される民生経済常任委員会において、所管事務調査として、民泊での取り扱いについて観光交流課に実態を説明させ、対応をはかるよう質す。	

【まとめ】

貴重なご意見を出していただくことができた。意見を持ち帰り精査したうえで、委員会として町政に反映できるものは反映をしていきたい。今後もこのような会を持たせていただけるように調整をはかるものとする。